

平成26年度町政モニターからの提言等と対応方針(H26.9.25開催)

【反映区分】

- A・・・提言等の趣旨に沿って措置したもの(すでに実施されているものを含む)  
 B・・・代替措置がなされているもの又は施策として方向が示されているもの  
 C・・・実現に努力しているもの  
 D・・・当面は実現できないもの  
 E・・・実現が極めて困難なもの

提言内容	担当課	対応方針(H26.10現在)	反映区分
メガソーラー事業の協定を結ぶ際には、景観等への配慮や事業終了後の後始末のことについてもきちんと入れていただきたい。	総務課	農山漁村再生可能エネルギー法に基づき、町が主導での再生可能エネルギー発電の促進による地域の活性化を図ることなどを目的に、国の基本方針による基本計画を策定予定です。 10月20日には、基本計画を策定のため、地域住民、学識経験者や町内主要関係団体並びに設備整備者等で構成する「軽米町再生可能エネルギー推進協議会」を設立しており、事業推進にあつては、農林業等との調和のとれた取り組みを促進していきたいと考えています。 施設整備にあつては、景観や自然環境、防災等に配慮しながら、自然景観との調和を図るとともに、雇用の場の確保はもとより事業者の地域貢献の施策などを盛り込んだ、町と事業者との企業立地協定書の締結を進めていきたいと考えています。	A
再生可能エネルギー事業が核となって、雇用や少子高齢化対策、地域活性化に波及してくれればいい。	総務課	基本計画の実行にあつては、町と施設整備事業者、地権者協会が一体となったグローバルな組織としての仮称「再生可能エネルギー連絡会」を設立し、施設整備事業者に対しては再生可能エネルギー発電事業での町づくりへの支援や協力を要請するとともに、情報や意見の交換などを通じて、地域に根差した施設となるよう取り組んでいきたいと考えています。 再生可能エネルギー施設整備の推進により、売電収益の地域還元や再生可能エネルギー電気の地域利用等を通じ、雇用の場の確保などはもとより、農業・農村の所得向上による地域の活性化に結びつける仕組みの構築を図っていきたいと考えています。	A
雪谷川の川沿いに、芝桜がずらっと咲いていればきれいだと思う。雪谷川沿いだと遊歩道もあるので、ハートフルまで行くことのできないお年寄りなども、散歩がてら芝桜を楽しむことができると思う。	地域整備課	ポイントとしては、増水のときにマットが流出して災害を増長しないようにすること、高水位(H. W. L ハイウォーターレベル)以上の位置とすることを踏まえ、河川管理者との協議が必要となります。	D
仕事の関係で行った先で、藤の花がきれいに咲いている所があった。全国で藤の花を売りにしている所はあまりないと思うので、一度検討していただければと思う。それから、長く咲くということで紫陽花を売りにしている所もあった。参考までに。	町民生活課	現在、春に咲く花としてチューリップ、紫陽花をフォリストパークを中心に、芝桜をパークゴルフ場に、夏は花いっぱいコンクールにより地域花壇等に植栽をお願いしているところです。今後は、これらをさらに充実させていきたいと考えております。	D
お祭り中日の流し踊りの開始時間を30分でも早めることはできないだろうか。遅い時間になると、町全体が暗い雰囲気になり、寒くなるから観客が減ってしまう。せっかくだらんな団体個性豊かに工夫してやっていることなので、皆さんに見てもらいたい。	産業振興課	軽米秋まつりの中日に行われる「軽米流し踊り」につきましては、町内の事業者や団体へ参加を呼びかけて実施しております。先頭の軽米小マーチングバンドや後尾のさんさ踊りなどを含めて、参加しやすい時間帯で実施しておりますが、観覧者に配慮した時間設定も必要と思われるので、交通規制の関係や参加団体の意向などを調査しながら検討して参ります。	C

提言内容	担当課	対応方針(H26.10現在)	反映区分
<p>物を作って売るとなると、こっちからお願いして買ってもらうようなイメージかもしれないが、ほしい人だけにしか売らないという方法もある。軽米というのは雑穀を作る技術が一番だと思われ、種類が豊富なので、そういう方法もいいのではないかと思います。</p>	産業振興課	<p>当町を含む二戸地域では、二戸雑穀ブランド推進協議会を組織し、無農薬、有機栽培を基本とし、栽培履歴を集荷業者間で確認するなどにより、品質の高い雑穀を生産しています。</p> <p>ご提言の趣旨は、無理な売り込みをしなくても、購入してもらえる方法を検討してはどうかとのことだと推察いたしますが、前述のとおり当町の雑穀はこだわりをもって栽培され、品質も優れたものですので、色々な媒体を活用したP. R. を積極的に行うなどにより他産地との差別化を鮮明にし、販売促進に繋げて参りたいと考えております。</p>	C
<p>人口がどんどん減り、自治体消滅論が取り沙汰される中で、軽米はどうなるのかと不安である。テレビで高齢化率50%以上を2年で解消した自治体の取組について紹介していた。同じにすればできるというわけではないが、いろいろなことを考えていかなければならないと感じた。</p>	健康福祉課	<p>①「高齢者だからできること」の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特産品開発～郷土食を町出身者に紹介・販路確保（「創年のたまり場」での事業化：レトルトパックの煮しめなどの商品化）</li> <li>・ “私の特技”で生まれた製品の商品化（工芸品、漬物などの商品化）</li> </ul> <p>②生まれてきた子どもを心身ともに丈夫に育てられるまちづくり</p> <p>(1)「子育てするなら『かるまい』で」を発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内外の“子育て情報”の収集</li> <li>・ 乳幼児健診通知書に“子育て情報”を同封</li> <li>・ 町ホームページに「子育て」情報をアップ</li> </ul> <p>(2)地域子育て支援事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ピヨピヨ広場の周知</li> <li>・ 一時預かり事業の実施</li> </ul> <p>③故郷で生活できる環境づくり</p> <p>(1)職場の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業の誘致、再生可能エネルギー事業の雇用確保</li> <li>・ 農業振興、第6次産業の推進</li> </ul> <p>(2)住居の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き家情報の集約と発信</li> <li>・ 町営住宅の整備（子育て世代が住みたい住宅の整備）</li> </ul>	C